

第2回群馬こども英語教育研究会 実施報告書

Who do you talk with ?

あなたは誰と話しますか？



研究会内容

1. 基調講演
2. 事例発表
3. 学習指導要領解説と本学院の取組

第2回の群馬こども英語研究会を平成26年2月5日（水）に開催した。

本研究会は、本学院と幼児教育専門機関の皆様と、「幼児語学教育」に関する多様な事例の交換を通じて教育情報を共有し、一層の教育効果を高めるための研究会とする。

基調講演「生涯を通じた英語教育」

駿河台大学 名誉教授 柴山 森二郎 先生

①日本の英語教育の現状と期待

平成15年：文部科学省は「英語が使える日本人」育成のための行動計画を発表し、目標として次の2点をあげた。

(1) 国民全体に求められる英語力

「中学校・高等学校を卒業したら英語でコミュニケーションができる」

○中学校卒業段階：挨拶や応対、身近な暮らしに関する話題などについて平易なコミュニケーションができる（卒業生の平均が英検3級程度）

○高等学校卒業段階：日常的な話題について通常のコミュニケーションができる（卒業生の平均が英検準2級～2級程度）

(2) 専門分野に必要な英語力や国際社会に活躍する人材等に求められる英語力

「大学を卒業したら仕事で英語が使える」

その後、英語教育についての主な変遷は、

平成23年：「グローバル人材推進会議」を開催

平成24年：「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」を発表

⇒「英語力を指導改善の取り組み」委託事業

⇒小学校：3,4年週1～2コマ英語活動

小学校：5,6年教科型英語週3コマ程度（モジュール型も活用）

⇒中学校：授業を英語で行うことを基本とする

高等学校：授業を英語で行うとともに言語活動を高度化

平成24年：文科省は外国語教育における

「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標設定に関する会議を開催

②学習者のアイデンティティ

外国語学習の要諦は生涯学習(Lifelong Study)だ。したがって、外国語教育には学習者養成の視点が欠かせない。たとえ幼児であっても学習や所属の喜びを大切に、グローバル社会の一員としての歩みを始めさせたいものである。

学習者は学習の喜びから生まれる人間には自己実現のニーズがある。学習のニーズはその一部で、学習には喜びが伴う。

また、人間には愛情のニーズがあり、所属のニーズを満たし他者との有意義な関係をもつことが必要である。

ニーズ⇒成功体験・達成感

⇒CAN-DO リスト

③学習提供者のアイデンティティ

英語教育は大切な専門職である。研究と経験の交換が必要である。児童英語に関しては、知識だけでなくアートを必要とする。4歳から12歳という異なる年齢層に対する対応の仕方に注目しなければいけない。Reading（読み）とWriting（書き）の導入とその指導も大きな研究課題で、経験と情報の交換が必要である。

最近、英語教育の改善のための研究と学習を重ねるため様々な分野が確認されている。

⇒全国外国語教育振興協会

⇒IIEEC（NPO 法人英語教授法研究会）

⇒MAT メソッド

⇒日本児童英語教育学会

そして、学習提供者が優れた学習の場を持つことはそのコミュニティの誇りである。できれば、経営者も児童や教師と一緒に学んで学習の場を盛り上げてはどうだろうか。



～柴山 森二郎 先生 プロフィール～

前橋市在住

学 歴

- 1959年 東北大学文学部卒業（文学士）
- 1986年 シアトルパシフィック大学大学院教育学
研究科修士課程修了

職 歴

- 1964年 群馬県立伊勢崎東高校教諭
- 1974年 国立群馬工業高等専門学校助教授
- 1980年 群馬大学医療技術短期大学部教授
- 1994年 駿河台大学文化情報学部教授
- 2006年 駿河台大学名誉教授

主な所属学会及び活動

- 1988年 全国語学教育学会 群馬支部長
- 1994年 日本英語検定協会実用英語検定1級面接
試験委員
- 2002年 全国語学教育学会監事
- 2003年 群馬県教育委員会運営指導委員会委員

事例発表「英会話レッスンにおける音楽の活用」 教務部長ロビン・ケイ 英語講師メディ・ホシカワ



事例発表では、教務部長のロビン・ケイと英語講師のメディ・ホシカワより英会話における音楽の活用についての発表を行なった。音楽を通して5つのポイントについてロビン教務部長より解説がなされた。

- 1- Music stimulates memory
音楽は記憶を刺激する
- 2- Music increases vocabulary
音楽は語彙を増やす
- 3- Singing improves pronunciation
歌うことは発音を改善する
- 4- Music is fun
音楽の楽しさ
- 5- Music helps acquire language comprehension
音楽は言語理解を助ける

メディ英語講師が、ギターの弾き語りで、2曲（I can SING A RAINBOW, IT'S A SMALL WORLD）を披露し、参加者と一緒に実際に歌い合わせをした。こども英語教育の中で、音楽を活用することは、言語学習にとって、非常に有効であることを再

認識できた。英語の音楽を「Sign Language（手話）」も合わせて披露し、日本の手話とアメリカの手話の違いを示した。

～Robin Kaye プロフィール～

- 国籍 カナダ、イギリス
- 学歴 マギル大学 文学士号取得
トリニティカレッジロンドン 修了
TESOL（英語教師資格証）取得
MAT 研修修了、デビットポール研修修了
TEMI 研修修了

言語 英語、フランス語

～Medy Hoshikawa プロフィール～

- 国籍 フィリピン
 - 学歴 サントトマス大学卒業
中央外語学院認定講師
Oxford Teacher-Training-Certificate-Program 修了
- 言語：英語、日本語

本学院の取組「学習指導要領の解説」 中央外語学院 語学事業部主任 星野 圭祐

(1)学習指導要領の変遷

昭和36年から中学校での英語教育が導入されて以降、平成22年になって小学校5、6年生からの導入、平成32年から更なる英語教育の低学年化と中学校、高校にて英語での授業と、急激な英語教育の風が吹いている。

(2)新学習指導要領

「生きる力」を育む。
知・徳・体のバランスのとれた力のこと
知識基盤社会の到来やグローバル化の進展による社会構造の中、次代を担う子どもたちの「生きる力」を育むことは、より一層重要となっている。

(3)学習評価のポイント

「目標に準拠した評価」（いわゆる絶対評価）
学校⇒学習評価の結果⇒学習指導の改善
子どもの学習過程や成果、進歩の状況など（観点別学習状況の評価）
⇒保護者の皆様に伝える⇒指導方針を共有

(4)本学院の取組

年度当初にカリキュラムを提示し、4半期ごとの評価と園へのフィードバック
⇒目標に準拠した評価と観点別学習状況の評価の導入
⇒園の教育方針の理解とそれに合ったカリキュラム計画
⇒生徒1人1人に接近した授業と評価

※詳細は同封の資料を参照

今回は、平成26年8月5日の予定。